令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人熊本県立劇場
施設名	熊本県立劇場
内定額	12,954　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　業　名	実施日程	実施会場
公-01	台湾フィルハーモニック	令和7年5月31日	熊本県立劇場コンサートホール
公-02	宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓	令和7年8月2日、3日	熊本県立劇場演劇ホール
公-03	ホワイエサロンシリーズ	令和7年5月10日、8月31日、令和8年2月7日	熊本県立劇場コンサートホールホワイエ
人-01	劇場人育成プログラム	令和7年4月17日～令和8年3月1日	熊本県立劇場
人-02	舞台技術の基礎講座	令和8年1月17日～18日	熊本市男女共同参画センターはあもにい
普-01	演奏家派遣アウトリーチ事業	令和7年10月～令和8年2月	熊本県内の小中学校
普-02	行くぜ！劇場探検隊	令和8年2月28日（土）	熊本県立劇場演劇ホール
普-03	劇場って楽しい！！	令和8年3月7日（土）、8日（日）	熊本県立劇場演劇ホール、天草市民センターホール
普-04	みんなで踊ろう！	令和8年1月24日（土）、25日（日）	熊本県立劇場演劇リハーサル室
普-05	県劇盆踊り	令和7年8月14日（木）	熊本県立劇場演劇ホールホワイエほか
普-06	市町村ネットワーク事業	通年	熊本県内の市町村ホール
普-07	第67回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「はじまり はじまり～舞台づくり学校 ～」	令和7年9月21日（日）	熊本県立劇場演劇ホール

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	27	31	30
	公演事業	13	17	16
	（内、本助成対象事業本数）	3	3	3
	人材養成事業	5	4	4
	（内、本助成対象事業本数）	3	2	2
	普及啓発事業	9	10	10
	（内、本助成対象事業本数）	6	6	7
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください			

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	323	438	411
	ホール名：コンサートホール　座席数：1810	154	214	195
	ホール名：演劇ホール　座席数：1172	169	224	216
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	24,431	40,910	36,346
	公演事業	12,777	18,456	17,038
	人材養成事業	1,505	7,305	3,981
	普及啓発事業	10,149	15,149	15,327
	共生社会事業			
	その他　内容：			
	貸館事業入場者・参加者数	190,012	265,127	269,742
	その他　内容：記入してください			
	計	214,443	306,037	306,088
開館日数		336	333	335
施設の利用可能日数 （＝365－（保守点検日数+休館日数））		316	306	281
施設の利用日数		268	247	240
施設の利用率(%) （＝利用日数/利用可能日数）		84.8%	80.7%	85.4%

備考	

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	7	10	6,611	1	5	0	1	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	6	6	6,166	0	5	0	1	0	0	0
	貸館公演	277	274	190,012	16	116	21	1	5	13	105
	計	290	290	202,789							
令和6年度	主催公演（※1）	9	9	6,746	2	7	0	0	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	10	10	8,277	0	7	1	1	0	0	1
	貸館公演	335	335	265,127	22	166	16	3	5	8	115
	計	354	354	280,150							
令和7年度	主催公演（※1）	8	9	7,303	2	5	0	1	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	7	7	10,534	0	6	0	1	0	0	0
	貸館公演	336	336	251,713	21	147	20	4	10	22	112
	計	351	352	269,550							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	台湾フィルハーモニック	目標値	1,500	82.9%	観客満足度	アンケートの５段階評価で「たいへん満足」、「満足」の回答が90%以上	97.9%
		実績値	820	45.3%	新規鑑賞者数	アンケート回答者のうち5%以上	12.0%
公-02	宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓	目標値	300	93.8%	観客満足度	アンケートの５段階評価で「たいへん満足」、「満足」の回答が90%以上	90.6%
		実績値	272	85.0%	新規鑑賞者数	アンケート回答者のうち8%以上	31.7%
公-03	ホワイエサロンシリーズ	目標値	560	93.3%	観客満足度	アンケートの５段階評価で「たいへん満足」、「満足」の回答が90%以上	98.3%
		実績値	582	97.0%	リピーター数	アンケート回答者のうち15%以上	35.4%

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人熊本県立劇場
施設名	熊本県立劇場
内定額	12,954　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	台湾フィルハーモニック	・集客面では、入場目標 1,500 名に対し実績は 820 名にとどまり、目標を下回った。これまで海外オーケストラはヨーロッパからの招聘が多く、アジアのオーケストラの魅力や意義の訴求が課題として残った。 ・観客満足度は 97.9%と高く、来場者には高い芸術性と魅力を伝えることができた。今後は継続的な取組を通じてアジアの舞台芸術の認知向上を図り、集客拡大につなげていきたい。
公-02	宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓	・入場者数は目標の 90.6%にとどまった一方、観客満足度は目標を 0.6 ポイント上回り、新規観客数も目標の 3.9 倍を超えた。 ・日本語を母語としない俳優らによる全編日本語上演という挑戦的な取組であったが、観客から高い評価を得るとともに、新たな観客層の獲得につながった。
公-03	ホワイエサロンシリーズ	3 公演のうち 2 公演が完売し、観客満足度およびリピーター獲得数はいずれも目標を大きく上回る結果となった。リピーターも着実に増加しており、企画として定着が進んでいるものと考えられる。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	外部評価委員の評価により、熊本の現状と芸術性のバランスが取れている事業かを測る。

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	**[企画力]** 観客のポジティブな評価 **[自由設定の観点]** 文化事業評価委員（外部評価委員）の評価	**[企画力]** 公演内容や芸術性について、アンケートの自由記述でポジティブな評価を得る **[自由設定の観点]** 文化事業評価委員会で概ね高評価を得る	**[企画力]** アンケート回収率の平均は 34.1%と高く、いずれの公演においても概ね高評価を得た。 **[自由設定の観点]** 事業を鑑賞した委員から 5 件のレポートの提出があり、うち 4 件で高評価を得た。
人材養成事業	**[発信力・影響力]** 専門的人材の育成度 **[自由設定の観点]** 文化事業評価委員（外部評価委員）の評価	**[発信力・影響力]** 参加者のアンケートで「スキルが向上した、関心度が増した」等の回答を得る **[自由設定の観点]** 文化事業評価委員会で概ね高評価を得る	**[発信力・影響力]** アンケート集計では、約 95%がスキルアップにつながったと回答した。 **[自由設定の観点]** 計２回の委員会を実施。人材育成の取組に高評価を得た。
普及啓発事業	**[レジデントカンパニー・アーティスト]** 劇場登録アーティストの起用 **[発信力・影響力]** 関係者（受入先等）による評価	**[レジデントカンパニー・アーティスト]** 演奏家派遣アウトリーチ事業（普及ー１）において、劇場がオーディションにより採用・育成したアーティストを起用する **[発信力・影響力]** 受入先へのアンケートで「来年度以降も、この事業に学校として参加したいと思う」との回答が 90%以上	**[レジデントカンパニー・アーティスト]** 劇場が採用・育成した 8 名のアーティストを起用した。 **[発信力・影響力]** 受け入れ先の教員 102 名からアンケート回答があり、そのすべてで来年度以降も参加したいという回答を得られた。
共生社会事業			

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	・県立劇場の有するネットワークや専門性、空間資源を活用し、創造性・企画性の高い事業を展開した。観客アンケートの回収率は平均 34.1%、平均満足度は 96.6%と、全体として高い評価を得た。 ・自由記述でもポジティブな意見が多数寄せられた。公-02「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」では、新たな鑑賞体験の創出が評価され、公-01「台湾フィルハーモニック」では芸術性と国際交流の両面で好評を得た。公-03「ホワイエサロンシリーズ」でも、会場空間を活かした演出や地域ゆかりの出演者による企画が評価された。 ・評価委員会では、提出した 5 件の評価レポートのうち 2 件が「事業目的を大いに達成」、2 件が「概ね達成」とされ、外部評価の面からも本事業の創造性・企画性は高く評価された。

人材養成事業	
自己評価	・人-01「劇場人育成プログラム」では、県内公共ホール職員を対象に全 9 回の研修を実施し、受講者数は 347 人と目標値の 157.7%を達成した。受講後アンケートでも、95%超が「スキルが向上した」「関心が高まった」と回答しており、専門人材の育成に成果が見られた。 ・人-02「舞台技術の基礎講座」では、参加者アンケートの全設問において全員が肯定的に回答しており、舞台技術への関心喚起と理解促進につながった。

普及啓発事業	
自己評価	・普-01「演奏家派遣アウトリーチ事業」では、劇場がオーディションにより採用・育成したレジデントアーティスト 8 名を起用し、育成した人材を実際の事業につなげるとともに、活動機会の創出や地域における文化芸術の担い手の可視化にもつなげた。 ・受入先アンケートでは、回答した教員 102 名全員が「来年度以降も学校として参加したい」と回答し、目標値の 90%を大きく上回ったことから、学校現場における満足度と信頼の高さがうかがえる。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・(国際プレゼンスの向上) 海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流) アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組) 在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
[国際プレゼンスの向上] 海外からの公演招聘	**[国際プレゼンスの向上]** 台湾フィルハーモニックを招聘する	**[国際プレゼンスの向上]** 台湾フィルハーモニックを招聘し、海外の実演芸術団体との連携による公演を実施した。令和８年度は台北木偶劇団の招聘を予定している。
[新たな創客への取組①] 在留外国人もしくは訪日外国人の入場者・参加者数	**[新たな創客への取組①]** 合計 100 人	**[新たな創客への取組①]** 合計 245 人
[新たな創客への取組②] 在留外国人の参加者数	**[新たな創客への取組②]** 「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」（公-02）関連企画のワークショップで海外にルーツがある参加者を受け入れる	**[新たな創客への取組②]** 「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」（公-02）関連企画のワークショップで海外にルーツがある参加者を 2 名受け入れた。

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	・公-01「台湾フィルハーモニック」では、TSMC 進出に伴う在留外国人の増加を踏まえ、日本の文化芸術を体験できる事業を展開し、在留外国人・訪日外国人あわせて 245 名を超える来場につなげるなど、新たな観客層の開拓に寄与した。 ・公-02「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」では、演出家による「想像」を用い、日本語を母語とする人もしない人も参加できるワークショップを企画するとともに、やさしい日本語による広報を実施した。その結果、外国籍参加希望者 4 名の申込みがあり、最終的に 2 名が参加するなど、多様な参加者の受入れにつながった。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	満足度の高い利用者サービスを行う
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
[文化拠点] 熊本の文化資源を活用した事業／公演の本数 **[地域連携]** 市町村ホールや関係機関との協働事業／公演数 **[子どもへの機会提供]** 子どもの鑑賞・参加者数（学校へのアウトリーチ事業等参加者および、公演・普及啓発事業での子ども招待や割引制度利用者数） **[子どもへの機会提供]** 新たなコミュニケーションの創出状況 **[ホール利用サービス向上]** 利用者評価（アンケート）	**[文化拠点]** 3 事業／公演 **[地域連携]** 20 事業／公演 **[子どもへの機会提供]** 2,000 人以上 **[子どもへの機会提供]** 第 67 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ（普及ー７）の参加者へのアンケートで「新しい仲間ができた」と回答する人が 90%以上 **[ホール利用サービス向上]** 各項目（手続き、対応、設備等４段階評価）3.5 以上の評価を得る	**[文化拠点]** 5 事業／公演 **[地域連携]** 20 事業／公演 **[子どもへの機会提供]** 2,054 人 **[子どもへの機会提供]** アンケート回収率は 93.6%と高く、そのうち 100%が「新しい仲間ができた」と回答した。 **[ホール利用サービス向上]** 6 項目中、5 項目で達成した。

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	・公-02 および公-03 では、県出身やゆかりのあるアーティストを積極的に起用し、地域に根ざした創造的な事業を展開した。 ・公-01 では、70 名の学生を公演に招待し、青少年が文化芸術に触れる機会の提供につなげた。 ・アウトリーチ（普-01）や市町村ネットワーク事業（普-06)、舞台技術講座（人-01）等を通して、県内各地のホールや教育機関等との連携を着実に広げ、新たな地域での実施にもつなげた。 ・利用者アンケートでも料金以外の項目で高い評価を得ており、全体として高い成果を上げた。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・（プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・（参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・（アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
[アクセシビリティ] 障がいがある方の鑑賞・参加者数（障がい者等割引サービスの利用者数および知的発達障がい児者に向けた劇場体験プログラムやダンスワークショップへの参加者数） **[アクセシビリティ]** 外国語版のリーフレットの作成	**[アクセシビリティ]** 500 人以上 **[アクセシビリティ]** ホワイエサロンシリーズ③ホワイエ薪能（公-03）において、在留外国人の理解を深めるための多言語パンフレットを作成し、提供する	**[アクセシビリティ]** 845 人 **[アクセシビリティ]** 公-03③において英語と繁体字中国語によるパンレットを作成・提供した。そのほかの事業でも、内容に応じて多言語化や、やさしい日本語での案内を取り入れた。

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	・障がいのある方が参加しやすい環境づくりに継続して取り組み、一定の成果を上げた。公演事業すべてで障がい者等割引を設定し、3 事業で 65 人の利用があったほか、知的・発達障がい児者に向けた劇場体験プログラム（普-03）675 人、ダンスワークショップ（普-04）105 人の参加があり、鑑賞・参加機会の拡充につながった。 ・多言語対応として、公-03「ホワイエサロンシリーズ」③で日本語・英語・繁体字中国語の 3 か国語パンフレットを作成したほか、公-01「台湾フィルハーモニック」では繁体字中国語、普-05「県劇盆踊り」では日本語・英語のリーフレットを作成し、やさしい日本語による案内も行った。 ・上記取組を通じて、多様な来場者に配慮した環境整備を進め、アクセシビリティの向上に寄与した。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	・ ・ ・

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。

普-01「演奏家派遣アウトリーチ事業」
本事業は、県内の中核施設である当劇場と、各市町村のホールや教育委員会が共催で実施している。
地域の事情を熟知する現地パートナーが学校や派遣先との調整を担い、当劇場がアーティストの選定や専門的なコーディネートを担うという役割分担を明確化している。この「劇場×行政×学校」が一体となった協働体制は、都市部以外の文化格差を解消するための有効なモデルケースといえる。

普-03「劇場って楽しい！！」
令和元年度の開始から 7 年目を迎え、参加者数も年々増加するなど、継続的に実施すべき事業として定着している。
天草市民センターでの公演も 2 年目となり、2 日間合計で過去最大の来場者数を記録した。
さらに、令和 8 年度は宇土市での開催も予定しており、今回の公演から宇土市のスタッフが運営に参画するなど、本事業で培ったノウハウを共有しながら他地域へ展開していく体制が広がっている。こうした展開は、熊本市以外の地域においても、障がいのある人もない人も共に舞台芸術を楽しみ、劇場に親しむ機会を広げるとともに、誰もが参加しやすい鑑賞環境づくりの考え方を県内各地に波及させるものといえる。

普-04「みんなで踊ろう！」
障害のある人もない人も一緒におどるワークショップ「みんなで踊ろう」では、参加者の保護者から「これまで本人が外出して楽しかったと感じたことはなかったと思うが、今日は初めて楽しいと思えたようだ」との声が寄せられた。
さらに当該参加者は、その後、「劇場って楽しい！！」(普-03) にも来場しており、劇場での体験が次の参加につながった事例といえる。令和元年度より重点的に取り組んできた社会包摂事業を通じて、障害の有無にかかわらず誰もが安心して文化芸術に触れられる環境づくりを進めてきた成果が、着実に表れ始めているものとして評価できる。

公-01「台湾フィルハーモニック」
本演奏会に音楽教育協力として関わった TSMC 傘下の台積電文教基金会と協働し、当初予定していなかったソリスト、ポール・ホワンによる公開レッスンの実施につなげることができた。これは、劇場がオーケストラ側との継続的な調整を誠実に重ね関係性を築いてきたことにより、公演実施にとどまらない教育普及の機会へと発展させることができた成果である。また、基金会の協力により、劇場側の追加負担を抑えながら実施できた点も大きい。
通訳を配置し、児童・生徒が国際的に活躍する演奏家から直接指導を受けられる環境を整えたことで、芸術を通じた国際交流に加え、参加した生徒の演奏に対する意識向上や技術面での成長にもつながる貴重な機会となった。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	文化庁助成金に採択されたほか、県内関連企業からの協賛金獲得に努めている。	公演ごとに広報計画を立案し実施するほか、部門横断の広報プロジェクトチームを編成し、劇場のプレゼンス向上のための広報に努めている。
目標(値)（※2）	助成金及び協賛金収入/14,241千円（R7年度目標）	年間来館者数目標/530,000人 チケット先行予約会員数の20%アップ
実績(値)	文化庁助成金　12,886千円 企業協賛金 1,500千円 育児休業等支援事業　800千円 寄附金　90千円 講演料等収入　1,675千円	・年間来館者数485,309人(達成率91.6%) ・チケット先行予約会員33%アップ ・広報プロジェクトチームによるミーティングを全10回実施、広報誌以外での情報発信を積極的に行った。
団体の自己評価	文化庁助成金の採択に加え、企業協賛金、寄附金、講演料等収入の確保に努めた結果、目標額を上回る実績を上げることができた。助成金のみならず、多様な財源を組み合わせて事業を実施できた点は高く評価できる。	部門横断の広報プロジェクトチームによる情報発信の強化により、チケット先行予約会員数は33%増と目標を大きく上回り、会員基盤の拡充につながった。年間来館者数は目標未達ながら達成率91.6%を確保し、一定の集客効果が認められた。多様な媒体を活用した広報展開は、劇場の認知向上と来場促進に寄与した。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	県内公立文化施設と共催/連携し公演やアウトリーチ事業等を実施している。	設置者である熊本県と月 1 回対面での報告会を実施。日頃より密に連携し、長期改修計画や事業計画を立案・実施している。
目標(値)（※2）	年間 20 公演（事業）で他館と共催/連携する。	
実績(値)	年間 20 公演。	・改修工事等に係る打合せ　計 28 回 ・県が設置の熊本県立劇場事業評価検討委員会に、指定管理者として出席（7 月 15 日）。
団体の自己評価	県立劇場の有するネットワークや専門性を活用し、計画通り事業を展開した。	月次報告に加え、改修工事に係る打合せ等を定期的に実施し、設置者と円滑に意思疎通ができている。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	館長が芸術面や社会性等を統括している。	財団プロパーが事務局長として実務を司っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)	館長が芸術面や社会性等を統括している	財団プロパーが事務局長として実務を司っている。
団体の自己評価	適切に配置されている。	適切に配置されている。

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	正規職員比率を高め、人材確保と専門性向上に努めている。	令和２年に「人事評価実施要項」制定。職能及び業務内容を整理し可視化した。
目標(値)（※2）		
実績(値)	令和７年度には２名の舞台職員を採用した。	令和２年に制定した「人事評価実施要項」に基づき整理、役割分担している。
団体の自己評価	劇場運営に必要な専門人材の確保に着実に取り組んでいる。	適切に整理、役割分担している。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	30～50 代がボリュームゾーンのため、令和６年度に 20 代の職員を採用した。	10 年前女性管理職はゼロだったが、令和６年度からは３名登用。性別、年齢、勤続年数に関わらず、能力のある職員は積極的に管理職へ登用している。
目標(値)（※2）		
実績(値)	令和６年度に続き、令和７年度も 20 代の職員を２名採用した。	女性管理職比率が 75%。
団体の自己評価	年齢バランスを考慮した採用に努めており、若年層の確保を継続して進めることで、組織の世代間バランスの改善につなげている。	ジェンダーにとらわれない登用ができている。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	育児･介護休業に関する規程を整備。現在職員 1 名が育児短時間勤務を利用中。	情報システムの管理及び運用に関する規程を整備。毎年外部講師による職員研修を実施。
目標(値)（※2）		
実績(値)	育児･介護休業に関する規程を整備。現在職員 1 名が育児短時間勤務を利用中。	全職員を対象にコンプライアンス研修（情報セキュリティ）を実施した。(11 月 20 日)
団体の自己評価	仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	規程の整備と継続的な研修の実施を通じて、情報セキュリティを含むコンプライアンス順守に向けた体制づくりを進めている。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	ハラスメント防止規程と、ハラスメント対策委員会を設置。毎年外部講師による研修を実施。	会計規程に基づき契約書を作成。内容については関連法を確認しながら随時更新している。
目標(値)（※2）		
実績(値)	・社会保険労務士を講師に迎え、全職員を対象に「メンタルヘルスとハラスメント」研修会を実施した。(11 月 27 日) ･7 月、全職員を対象に、厚労省制作のストレスセルフチェックを実施。ストレスが高いと診断された 3 名に顧問社労士による面談希望を確認し、1 名の面談を実施した。	会計規程に基づき契約書を作成。内容については関連法を確認しながら随時更新している。
団体の自己評価	全職員を対象に研修会を実施したほか、ストレスセルフチェックの結果を踏まえ、必要に応じて顧問社労士による面談につなげるなど、職場環境の改善と早期対応に努めた。	適切に契約を交わしている。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
【公演事業】 熊本では鑑賞する機会が少ない海外オーケストラを招聘する事業として、公-1「台湾フィルハーモニック」を実施。台湾の半導体大手・TSMC 進出で交流が深まる台湾からオーケストラを招き、相互理解を深める一助とした。 在留外国人が急増する熊本において、日本語が優位にある日本語演劇のありようを疑い、日本語の可能性を開く作品として公-02「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」を上演。観客満足度、新規顧客の獲得ともに目標を上回った。 ホワイエを会場とした室内楽シリーズ・公-03「ホワイエサロンシリーズ」では、①若手演奏家による箏三重奏②当劇場館長の姜尚中ナビゲートによる夏目漱石「夢十夜」の朗読会③ホワイエ薪能の 3 公演を実施した。これまで取り組んできた室内楽公演に加え、朗読会、薪能とジャンルを拡大。3 公演のうち 2 公演が完売し、観客満足度およびリピーター獲得数はいずれも目標を大きく上回る結果となった。 なお、すべての公演において 25 歳以下の青少年や障害のある方への割引制度（U25 割、障割）を設定。U25 割は 129 人、障割は 65 人の利用があり、多様な層の来場促進につなげた。 【人材養成事業】 人-01「劇場人育成プログラム」は公共ホール職員向けの全 9 回の研修プログラムで、延べ 347 人と目標の約 1.4 倍の参加者があった。アンケートでは約 95%が「スキルアップにつながった」と回答。ホール職員の専門性向上につなげた。 人-02「舞台技術の基礎講座」は、高校生、専門学校生、大学生を対象とした講座。参加者アンケートでは、「舞台技術の仕事への興味が深まったか」「今後の活動に役立つと思うか」「舞台技術の仕事についてもっと深く知りたいと思うか」といった質問に全員が「はい」と回答。将来は劇場で働いてみたい、舞台技術の専門学校に進学したいという声もあり、一定の効果を挙げたと思われる。 アーティスト育成の事業としては、東京藝術大学と連携し地域における卓越人材の発掘・育成を行う「早期教育プロジェクト」や、福岡・長崎・大分の劇場と連携しジュニアオーケストラの合同演奏会を行う「北部九州ジュニアオーケストラ・ミュージックフェスティバル」（いずれも応募事業外）に取り組んだ。 【普及啓発事業】 劇場での活動にとどまらず、県域全体に実演芸術を届けるため、　普-01「演奏家派遣アウトリーチ事業」や普-06「市町村ネットワーク事業」を実施した。「演奏家派遣アウトリーチ事業」は 53 コマ実施、1,582 人の児童生徒が参加した。児童生徒へのアンケートでは、「前よりも音楽が好きになった」が 71.6%、「楽器を演奏してみたくなった」が 57.2%と、子どもたちの音楽に対する興味を喚起するという事業目的を達成している。「市町村ネットワーク事業」は県内全域での舞台芸術鑑賞機会の創出を目的に公演を実施する事業で、全 8 公演に 2,756 人が来場した。これら 2 事業は市町村の文化施設または教育委員会と連携し実施、地域文化拠点としての機能を果たしている。 障害の有無に関わらず文化芸術を享受できる機会を提供するため、普-03「劇場って楽しい！！」および普-04「みんなで踊ろう！」を実施した。「劇場って楽しい！！」は令和元年度からスタートした知的・発達障がい児（者）向けの劇場体験プログラムで、回を重ねるごとに参加希望が増えている。今年度は昨年度に引き続き天草市民センターと共催で天草公演を実施、本取り組みを拡大することができた。障害の有無に関わらず参加できるダンスワークショップ「みんなで踊ろう！」は令和 5 年度に続き 3 回目の実施。鑑賞型の「劇場って楽しい！！」に加え、参加型の本事業の実施で、プログラムの多様化を図った。 普-02「行くぜ！劇場探検隊」は芝居仕立てのバックステージツアー。九州交響楽団と共催の「0 歳からのオーケストラ」（対象事業外）と合わせ「けんげきキッズプログラム」とカテゴライズし、子どもたちを対象とした鑑賞・体験事業を充実させている。 普-05「県劇盆踊り」は、熊本地震に伴う臨時休館からの再開を機にスタートした事業で、多様な層に熊本の地域文化資源（民謡や舞踊）に触れ、親しんでもらう機会を提供。年々来場者が増加し、令和 7 年度は 2,400 人が来場した。 普-07「熊本県芸術文化祭オープニングステージ」は、公募した子どもたちを対象に、ダンスや衣裳、音楽、映像の創作ワークショップを実施し、1 時間程度の舞台作品（ダンス公演）を創り上演するプロジェクト。パフォーマーとして 18 人、クリエイターとして 23 人が参加した。実演芸術に対する理解や関心を深めるとともに、将来の担い手づくりにも寄与している。

備考